

国語科の目標	
<p>・ 目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身につけるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。</p>	<p>・ 目的や意図に応じ、考えた事などを文章全体の効果を考へて文章に書く能力を身につけさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。</p>
<p>・ 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身につけさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。</p>	

学習すること ●は書写	
前	<p>○ 想像を豊かにして「語り」をしよう 「風切るつばさ」 図書館へ行こう 表現をくふうして書こう 熟語の構成を考えよう ●はじめに 毛筆の姿勢 ●組み立て方〈湖〉</p> <p>○ 自分の考えを明確にしながらか読もう 「イースター島にはなぜ森林がないのか」 学校の良さを宣伝しよう 動詞にそえて使う言葉に目を向けよう ●筆順と字形〈成長〉</p> <p>○ 物語が強く語りかけてきたことを考えながらか読もう 「ばらの谷」意見を聞き分けよう 日本の文字に関心を持とう ●文字と絵で伝えよう</p> <p>○ 書き手のくふうを考えながらか新聞の投書を読もう 新聞の当初を読み比べよう 「わたしの意見」を書こう 漢文を読んでみよう「本は友達」短歌 「いま始まる新しいいま」資料を活用して書こう 問題を解決するために話し合おう 「桃花片」 ●筆使いと字配り〈あこがれ〉</p>
期	<p>○ 人物の生き方を考えながらか読もう 「海のいのち」子供句会を開こう 言葉の由来に関心を持とう ●文字の大きさ〈世界平和〉</p> <p>○ 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう 「未来に生かす自然のエネルギー」</p>
後	<p>○ 資料を使って説明しよう 「深めよう、言葉の世界」言葉は変わる ●書き初めをしよう〈希望伝統を守る〉</p> <p>○ 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう 「ヒロシマのうた」 ●まとめ〈未来の夢〉</p>
期	<p>○ ふるさとの良さを文章で伝えよう 「ふるさとの良さをしようかいしよう」 伝えよう、大切にしたい名言 ●未来に向かって</p> <p>○ わたしたちの日本語について考えよう 豊かな日本語の使い手になろう 「雨のいろいろ」「数え方でみがく日本語」</p> <p>○ 未来に向かって 「君たちに伝えたいこと」 「春に」</p>

国語科の評価

・ 国語科では五つの観点で評価します。

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<p>国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する関心を深め、適切に話したり聞いたり書いたり、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする。</p>	<p>目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり相手の意図を考えながら聞いたり、計画的に話し合ったりしている。</p>	<p>目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考へて文章に書いている。</p>	<p>目的に応じ、内容や要旨をとらえながら本や文章を読んでいる。</p>	<p>伝統的な言語文化に触れたり、言葉の特徴やきまり、文字の使い方などについて理解し使ったりするとともに、文字を書く目的や用紙全体との関係、点画のつながりなどに注意して書いている。</p>
<p>・ 次のような方法で見えていきます。</p>				